

博士課程

2020

授業科目〈シラバス〉

沖縄県立芸術大学大学院  
芸術文化学研究科

## 授業科目〈シラバス〉について

この「2020 授業科目〈シラバス〉」は、令和2年度に大学院芸術文化科学研究科で開講される（一部休講科目を含む。）授業科目について、各担当教員から提出された授業科目〈シラバス〉をまとめたものです。履修計画や年間の学習計画を立てる際に利用してください。

なお、履修案内については、別冊「履修便覧」に記載しています。

1. 集中講義科目については、単位数・学期欄の（）内に表記されています。
2. 担当教員名欄には、科目の指導担当教員全員の氏名が記載されています。
3. 担当教員名欄の（客）は客員教授を、（非）は非常勤講師を表します。
4. 履修上の留意点には、履修の条件や注意事項のほかに、履修にあたり心掛けるべき点、学生への要望等が記載されています。

## 大学院芸術文化学研究科開設授業科目一覧表

科目コード	科目名	単位	学期	履修年次	授業区分	ページ
90112	芸術表現総合比較研究Ⅰ	2	通年	1・2	演習	1
90113	芸術表現総合比較研究Ⅱ	2	通年	2・3	演習	2
90228	比較美学研究A	2	後期	1・2	講義	3
90229	比較美学研究B	2	前期(集中講義)	1・2	講義	4
90230	比較芸術学特殊研究A	2	前期	1・2	講義	5
90231	比較芸術学特殊研究B	2	後期(集中講義)	1・2	講義	6
90242	日本芸術批評史研究A	2	前期	1・2	講義	7
90243	日本芸術批評史研究B	2	後期(集中講義)	1・2	講義	8
90244	東洋芸術批評史研究A	2	前期	1・2	講義	9
90245	東洋芸術批評史研究B	2	前期(集中講義)	1・2	講義	10
90234	西洋芸術批評史研究A	2	後期	1・2	講義	11
90235	西洋芸術批評史研究B	2	前期(集中講義)	1・2	講義	12
90216	民族工芸論研究	4	通年	1・2	講義	13
90217	映像論研究	2	前期(集中講義)	1・2	講義	14
90246	日本芸術文化学研究A	2	前期	1・2	講義	15
90247	日本芸術文化学研究B	2	後期	1・2	講義	16
90248	民族芸術文化学研究A	2	前期	1・2	講義	17
90249	民族芸術文化学研究B	2	後期	1・2	講義	18
90251	東洋芸術文化学研究A	2	前期	1・2	講義	19
90252	東洋芸術文化学研究B	2	後期	1・2	講義	20
90250	民族芸術学特論	2	後期(集中講義)	1・2	講義	21
90253	比較民俗学研究A	2	前期	1・2	講義	22
90254	比較民俗学研究B	2	後期	1・2	講義	24
90238	東洋工芸史研究	4	通年	1・2	講義	26
90220	西洋音楽史研究	4	通年	1・2	講義	27
90221	日本音楽史研究	4	通年	1・2	講義	28
90223	民族音楽学研究	4	通年	1・2	講義	29
90224	琉球音楽論研究	4	通年	1・2	講義	30
90225	民族舞踊学研究	4	通年	1・2	講義	31
90226	民俗芸能論研究	4	通年	1・2	講義	32
90227	琉球楽劇論研究	4	通年	1・2	講義	33
90239	楽曲分析研究	2	後期	1・2	講義	34
90240	アートマネジメント研究	2	通年	1・2	演習	35
90241	芸術学研究	2	通年	1・2	講義	36

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
90226	民俗芸能論研究	4単位 通年	1・2	講義	久万田 晋

### ■テーマ

日本・沖縄の民俗芸能研究を学説史的に検討する。

### ■授業の概要

沖縄の民俗芸能を、民俗文化全体にわたる視野の中で把握するために、日本・沖縄の民俗芸能研究を学説史的に検討する。あわせて県内の祭祀・民俗芸能に関するフィールドワークを行い、人々の生活との関わり、音楽・舞踊・演劇・文学的的局面等、総合的な観点からの理解を目指し、共同研究を行う。

### ■到達目標

- ・沖縄各地の民俗芸能の様態を、各地の社会状況や近現代史における変遷を含めて把握する。
- ・それと同時に古典芸能、大衆芸能との相互関連性についての理解を得る。

### ■授業計画・方法

(前期)

- 1～5. 文献購読 基本概念、分類、成立史
- 6～10. 日本本土の民俗芸能の概説 神楽、田楽、風流、その他
- 11～15. 沖縄・奄美の民俗芸能の概説 神祭り、臼太鼓、エイサー、村踊り等

(後期)

- 16～20. 沖縄・奄美の民俗芸能の展開 地域各論
- 21～25. 民俗芸能の現代的展開 イベント・創作芸能、海外への展開
- 26～30. 受講生のレポートに向けての発表と質疑応答

定期試験は実施しない。

### ■履修上の留意点 (授業以外の学習方法を含む)

- ・沖縄文化や琉球芸能全般に関する基礎知識を持つことが望ましい。

### ■成績評価の方法・基準

- 方法 日頃の出席状況・授業態度にレポートの採点を加味して評価する。
- 基準 「到達目標」を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。  
芸術文化学研究所(博士課程)の学生には、専門家としての独創的かつ学術的な達成を求める。

### ■教科書・参考文献(資料)等

参考文献

久万田晋『沖縄の民俗芸能論 一神祭り、臼太鼓からエイサーまで』(ボーダーインク、2011年)